

管内小規模事業所景気動向調査 調査結果分析報告書

平成31年1月
三戸町商工会

I 調査概要

1. 調査目的

小規模事業者の経営内容を把握し、三戸町管内の経済。景気動向を正確に把握することを目的とする。

2. 調査方法

調査は質問紙調査票により、小規模事業者を対象として、巡回訪問により実施した。

3. 調査期間

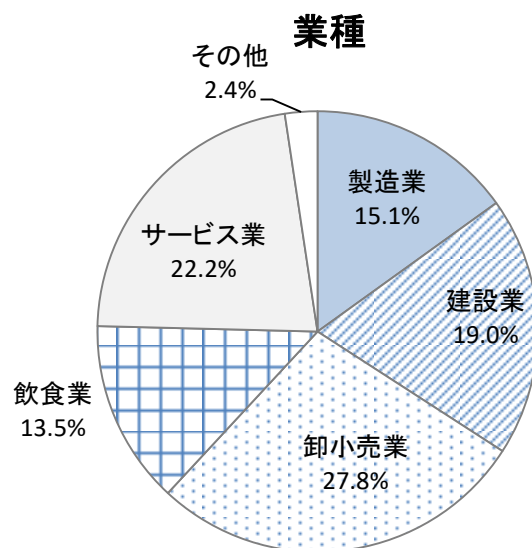
平成 30 年 12 月 3 日（月）～平成 30 年 12 月 28 日（金）

4. 調査項目

自社や業界の業況、売上高、営業利益、資金繰り、人員や人手、従業員、仕入価格、在庫状況、経営上の問題や課題等

5. 回答状況

回答事業所数は 126 事業所であった。回答事業所の業種割合は以下のとおりである。



6. 集計分析依頼先

有限会社オフィスエスティ

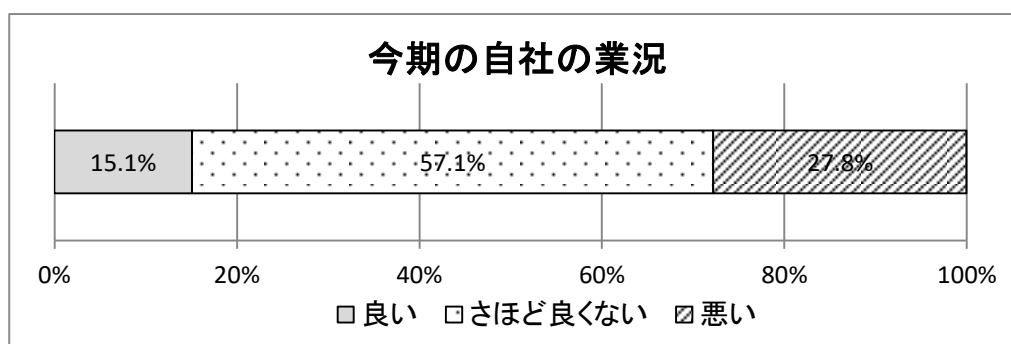
II 集計結果

1. 前期と比較した今期の業況等について

業況の判断として、前年同期に比べ「良い」・「増えた」と回答した事業所割合から、「悪い」・「下がった」とする事業所割合を差し引いた値である「DI 値」を示す。

DI 値の解釈については、「30 以上」が「良い」、「10～30 未満」が「やや良い」、「10 未満～▲10」が「横ばい」、「▲10 超～▲30 未満」が「やや悪い」、「▲30 以上」が「悪い」とする。

(1) 今期の自社の業況について

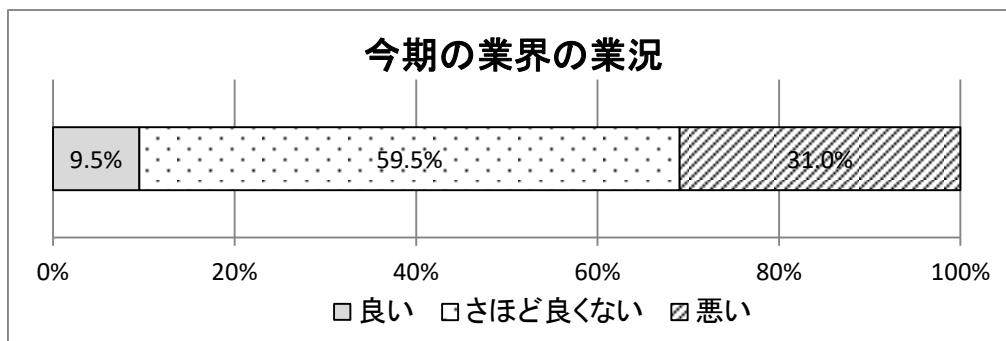


<業種別>

	合計	良い	さほど良くない	悪い	DI 値
全体	126 100.0%	19 15.1%	72 57.1%	35 27.8%	▲ 12.7
製造業	19 100.0%	1 5.3%	15 78.9%	3 15.8%	▲ 10.5
建設業	24 100.0%	6 25.0%	14 58.3%	4 16.7%	8.3
卸小売業	35 100.0%	2 5.7%	19 54.3%	14 40.0%	▲ 34.3
飲食業	17 100.0%	3 17.6%	8 47.1%	6 35.3%	▲ 17.6
サービス業	28 100.0%	5 17.9%	15 53.6%	8 28.6%	▲ 10.7
その他	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	66.7

全体の今期の自社の業況については、DI 値が▲12.7%ポイントであった。業種別では、「建設業」と「その他」の業種でDI 値がプラスであったが、それ以外はマイナスで、特に「卸小売業」がDI 値▲34.3%ポイントで、悪い状況になっている。

(2) 今期の業界の業況について

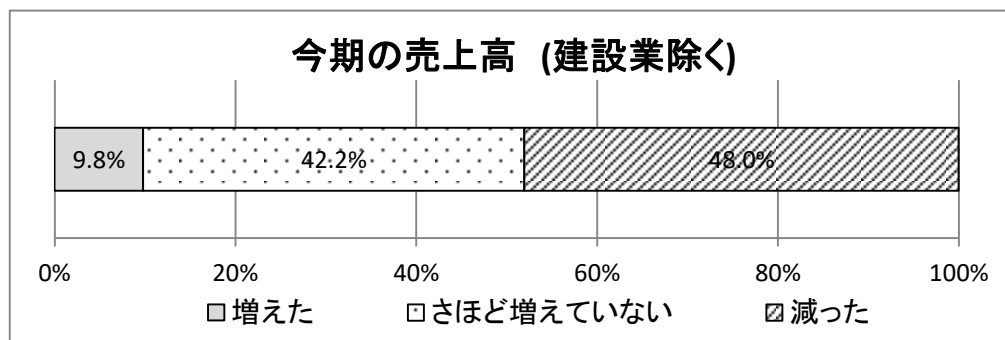


<業種別>

	合計	良い	さほど良くない	悪い	DI 値
全体	126 100.0%	12 9.5%	75 59.5%	39 31.0%	▲ 21.4
製造業	19 100.0%	2 10.5%	15 78.9%	2 10.5%	0.0
建設業	24 100.0%	5 20.8%	16 66.7%	3 12.5%	8.3
卸小売業	35 100.0%	2 5.7%	16 45.7%	17 48.6%	▲ 42.9
飲食業	17 100.0%	1 5.9%	11 64.7%	5 29.4%	▲ 23.5
サービス業	28 100.0%	2 7.1%	14 50.0%	12 42.9%	▲ 35.7
その他	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0.0

全体の今期の業界の業況は、DI 値が▲21.4%ポイントであった。業種別では、「建設業」のDI 値がプラス8.3%ポイント、「製造業」、「その他」は0%ポイントで変わらずであった。それ以外の業種はマイナスで、特に「卸小売業」はDI 値▲42.9%ポイントで、悪い状況になっている。

(3) 今期の売上高について（建設業除く）

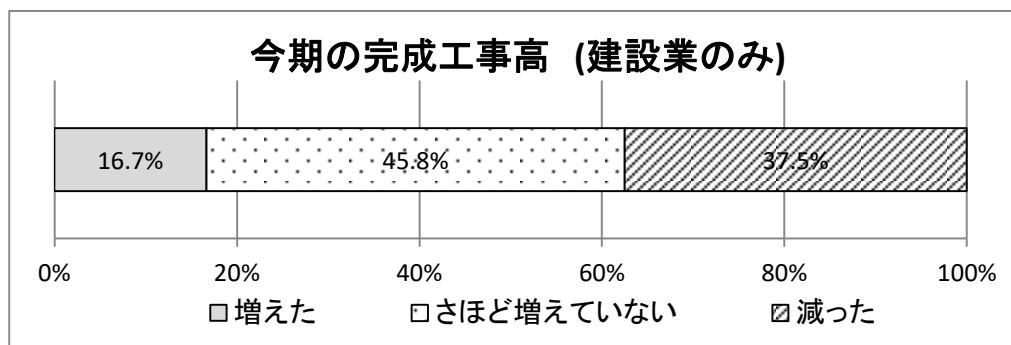


<業種別>

	合計	良い	さほど 良くない	悪い	DI 値
全体 (建設業除く)	102 100.0%	10 9.8%	43 42.2%	49 48.0%	▲ 38.2
製造業	19 100.0%	2 10.5%	9 47.4%	8 42.1%	▲ 31.6
建設業	- -	- -	- -	- -	-
卸小売業	35 100.0%	2 5.7%	15 42.9%	18 51.4%	▲ 45.7
飲食業	17 100.0%	3 17.6%	5 29.4%	9 52.9%	▲ 35.3
サービス業	28 100.0%	3 10.7%	11 39.3%	14 50.0%	▲ 39.3
その他	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0.0

建設業を除いた今期の売上高は、DI 値が▲38.2%ポイントであった。業種別では、「その他」以外のDI 値がマイナスで、特に「卸小売業」がDI 値▲45.7%ポイントと、悪い状況になっている。

(4) 今期の完成工事高について (建設業のみ)

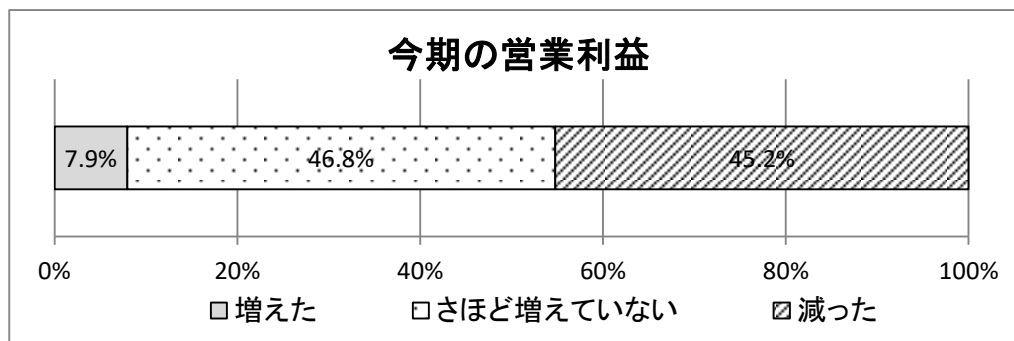


<業種別>

	合計	良い	さほど 良くない	悪い	DI 値
建設業	24 100.0%	4 16.7%	11 45.8%	9 37.5%	▲ 20.8

建設業のみに尋ねた今期の完成工事高は、DI 値が▲20.8%ポイントで、完成工事高はやや悪い状況になっている。

(5) 今期の営業利益について

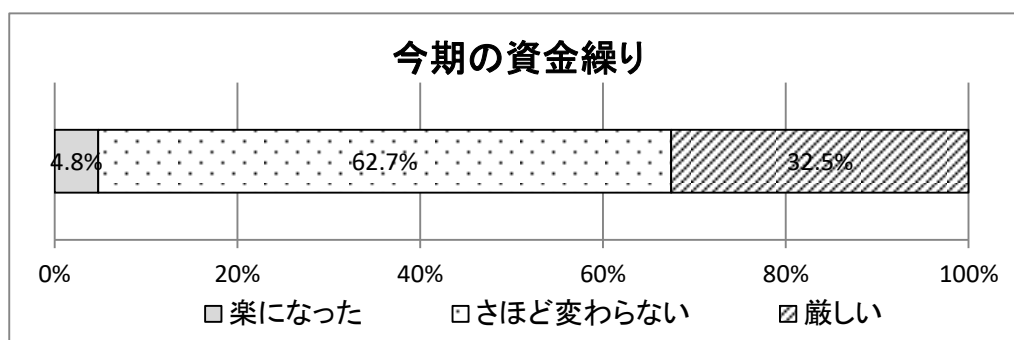


<業種別>

	合計	増えた	さほど増えていない	減った	DI 値
全体	126 100.0%	10 7.9%	59 46.8%	57 45.2%	▲ 37.3
製造業	19 100.0%	0 0.0%	10 52.6%	9 47.4%	▲ 47.4
建設業	24 100.0%	4 16.7%	10 41.7%	10 41.7%	▲ 25.0
卸小売業	35 100.0%	0 0.0%	18 51.4%	17 48.6%	▲ 48.6
飲食業	17 100.0%	2 11.8%	6 35.3%	9 52.9%	▲ 41.2
サービス業	28 100.0%	4 14.3%	13 46.4%	11 39.3%	▲ 25.0
その他	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	▲ 33.3

全体の今期の営業利益は、DI 値が▲37.3ポイントであった。すべての業種でマイナスのDI 値であるが、特に「卸小売業」のDI 値が▲48.6ポイントで、悪い状況になっている。

(6) 今期の資金繰りについて

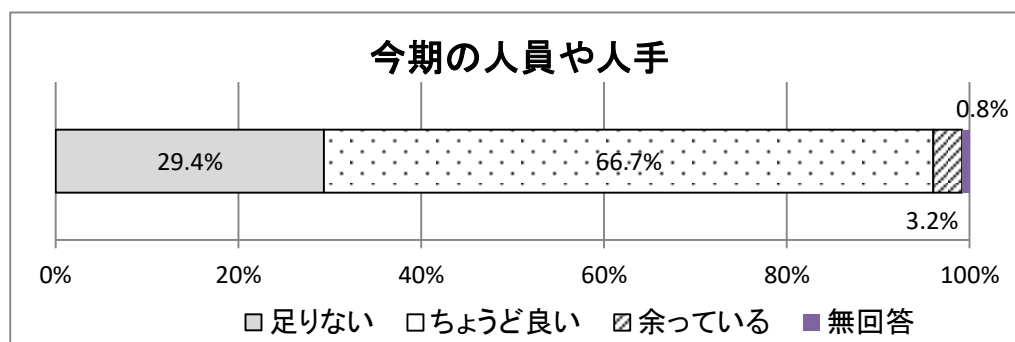


<業種別>

	合計	楽になった	さほど 変わらない	厳しい	DI 値
全体	126 100.0%	6 4.8%	79 62.7%	41 32.5%	▲ 27.8
製造業	19 100.0%	0 0.0%	16 84.2%	3 15.8%	▲ 15.8
建設業	24 100.0%	4 16.7%	14 58.3%	6 25.0%	▲ 8.3
卸小売業	35 100.0%	0 0.0%	19 54.3%	16 45.7%	▲ 45.7
飲食業	17 100.0%	1 5.9%	9 52.9%	7 41.2%	▲ 35.3
サービス業	28 100.0%	1 3.6%	21 75.0%	6 21.4%	▲ 17.9
その他	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	▲ 100.0

全体の今期の資金繰りは、DI 値が▲27.8%ポイントであった。すべての業種でマイナスのDI 値であるが、特に「卸小売業」のDI 値が▲45.7%ポイントと悪い状況になっている。

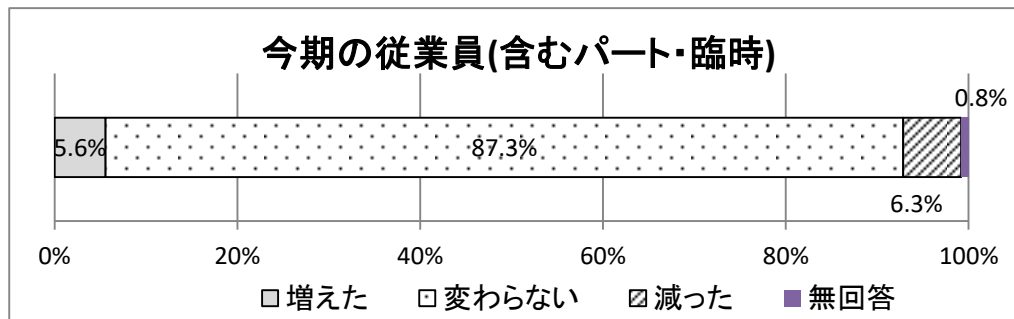
(7) 今期の人員や人手について



	合計	足りない	ちょうど良い	余っている	無回答	DI 値
全体	126 100.0%	37 29.4%	84 66.7%	4 3.2%	1 0.8%	26.2
製造業	19 100.0%	5 26.3%	14 73.7%	0 0.0%	0 0.0%	26.3
建設業	24 100.0%	14 58.3%	9 37.5%	0 0.0%	1 4.2%	58.3
卸小売業	35 100.0%	3 8.6%	30 85.7%	2 5.7%	0 0.0%	2.9
飲食業	17 100.0%	4 23.5%	12 70.6%	1 5.9%	0 0.0%	17.6
サービス業	28 100.0%	10 35.7%	17 60.7%	1 3.6%	0 0.0%	32.1
その他	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	33.3

全体の今期の人員や人手は、DI 値が 26.2%ポイントであった。すべての業種でプラスの DI 値で人員・人手不足の状況が見られる。特に、「建設業」の DI 値が 58.3%ポイントと人員・人手不足の状況になっている。

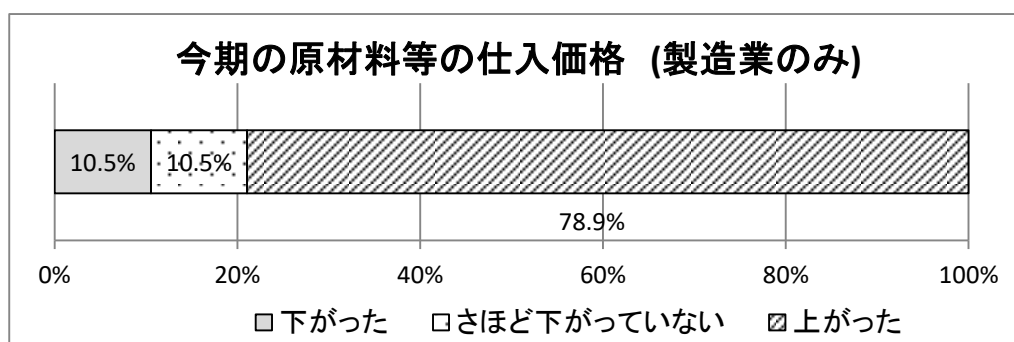
(8) 今期の従業員について (含むパート・臨時)



	合計	増えた	変わらない	減った	無回答	DI 値
全体	126 100.0%	7 5.6%	110 87.3%	8 6.3%	1 0.8%	▲ 0.8
製造業	19 100.0%	1 5.3%	16 84.2%	2 10.5%	0 0.0%	▲ 5.3
建設業	24 100.0%	1 4.2%	21 87.5%	2 8.3%	0 0.0%	▲ 4.2
卸小売業	35 100.0%	1 2.9%	33 94.3%	1 2.9%	0 0.0%	0.0
飲食業	17 100.0%	2 11.8%	14 82.4%	1 5.9%	0 0.0%	5.9
サービス業	28 100.0%	2 7.1%	23 82.1%	2 7.1%	1 3.6%	0.0
その他	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0

全体の今期の従業員については、DI 値が▲0.8%ポイントであった。「製造業」と「建設業」がマイナスで、従業員 (含むパート・臨時) がやや減っている状況が見られる。

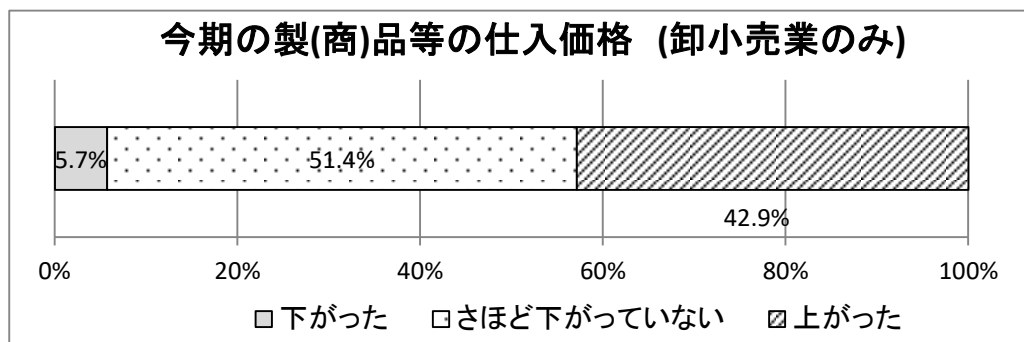
(9) 今期の原材料等の仕入価格について (製造業のみ)



	合計	下がった	さほど下がっていない	上がった	DI 値
製造業	19 100.0%	2 10.5%	2 10.5%	15 78.9%	▲ 68.4

製造業の原材料等の仕入価格については、DI 値が▲68.4%ポイントと原材料の仕入れ価格がとて高くなっている状況である。

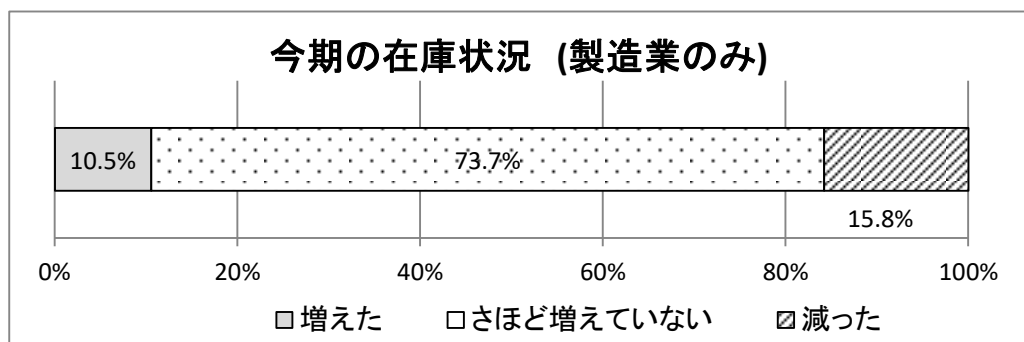
(10) 今期の製(商)品の仕入価格について(卸・小売業のみ)



	合計	下がった	さほど下がっていない	上がった	DI 値
卸小売業	35 100.0%	2 5.7%	18 51.4%	15 42.9%	▲ 37.1

卸小売業での製(商)品等の仕入価格については、DI 値が▲37.1%ポイントと価格が上がっている状況である。

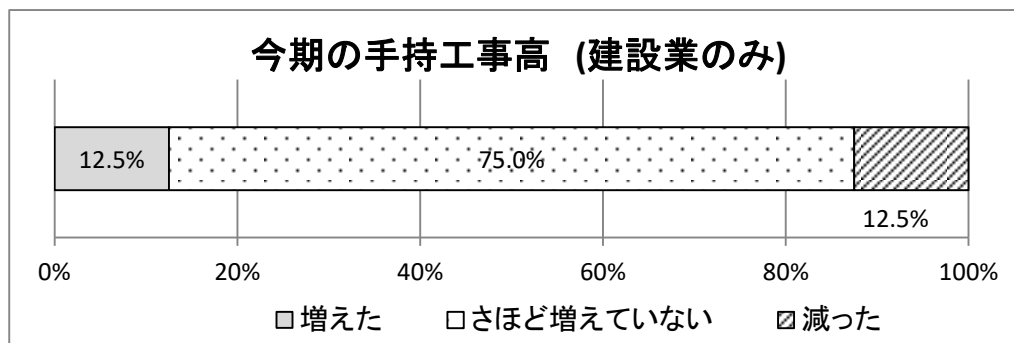
(11) 今期の在庫状況について(製造業のみ)



	合計	増えた	さほど増えていない	減った	DI 値
製造業	19 100.0%	2 10.5%	14 73.7%	3 15.8%	▲ 5.3

製造業の在庫状況については、DI 値が▲5.3%ポイントとやや減少が上回っているものの横ばいの状況である。

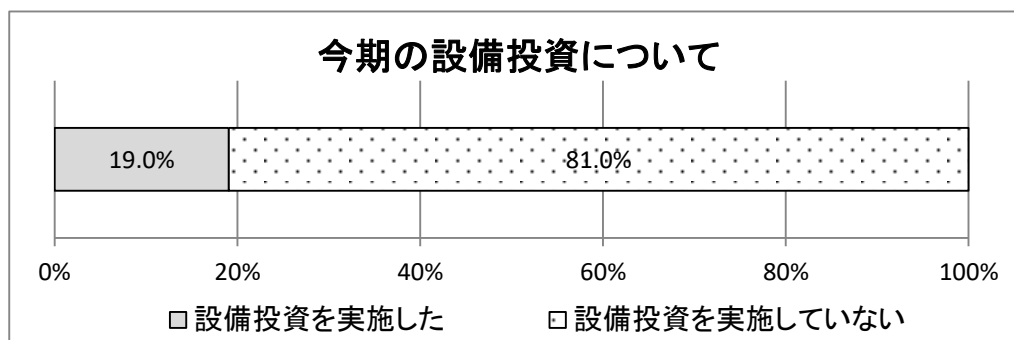
(12) 今期の手持工事高について（建設業のみ）



	合計	増えた	さほど増えていない	減った	DI 値
建設業	24 100.0%	3 12.5%	18 75.0%	3 12.5%	0

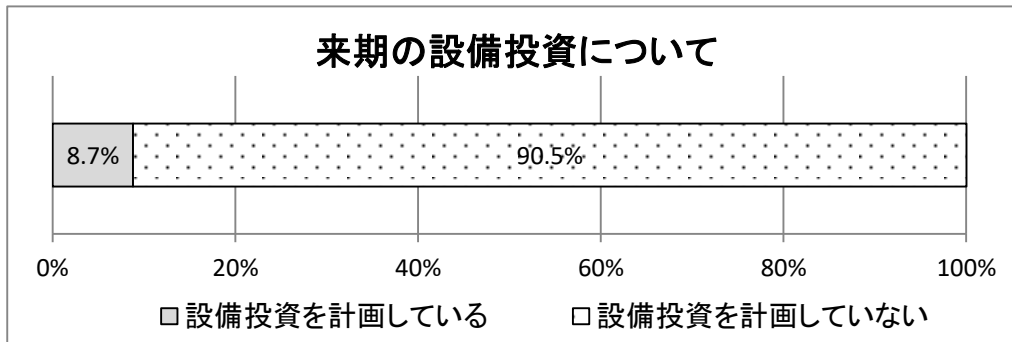
建設業の手持ち工事高については、DI 値が 0 と前期と変わらずであった。

2. 前期と比較した今期の業況について



	合計	実施した	実施していない
全体	126 100.0%	24 19.0%	102 81.0%
製造業	19 100.0%	4 21.1%	15 78.9%
建設業	24 100.0%	7 29.2%	17 70.8%
卸小売業	35 100.0%	4 11.4%	31 88.6%
飲食業	17 100.0%	2 11.8%	15 88.2%
サービス業	28 100.0%	4 14.3%	24 85.7%
その他	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%

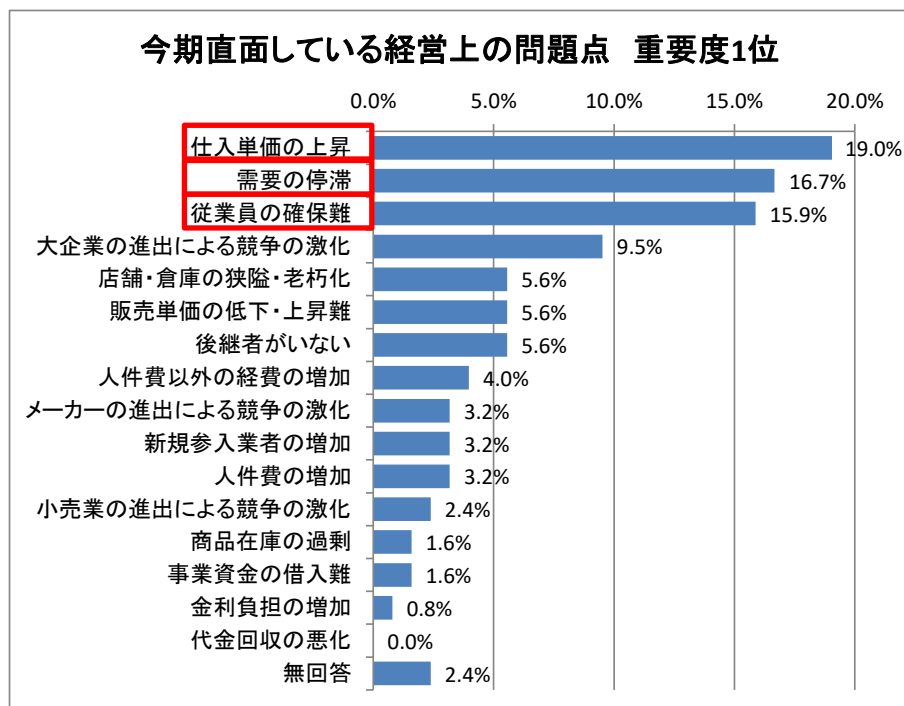
今期の設備投資については、設備投資を実施していない事業所が 81.0%と、ほとんどの事業所では、設備投資が行われていない結果が明らかとなった。

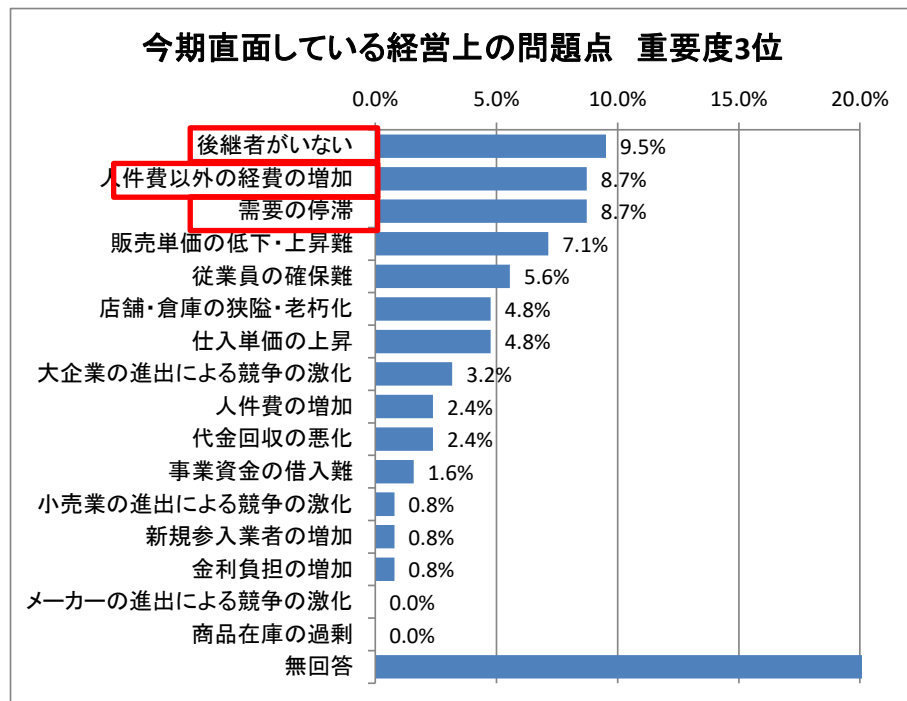
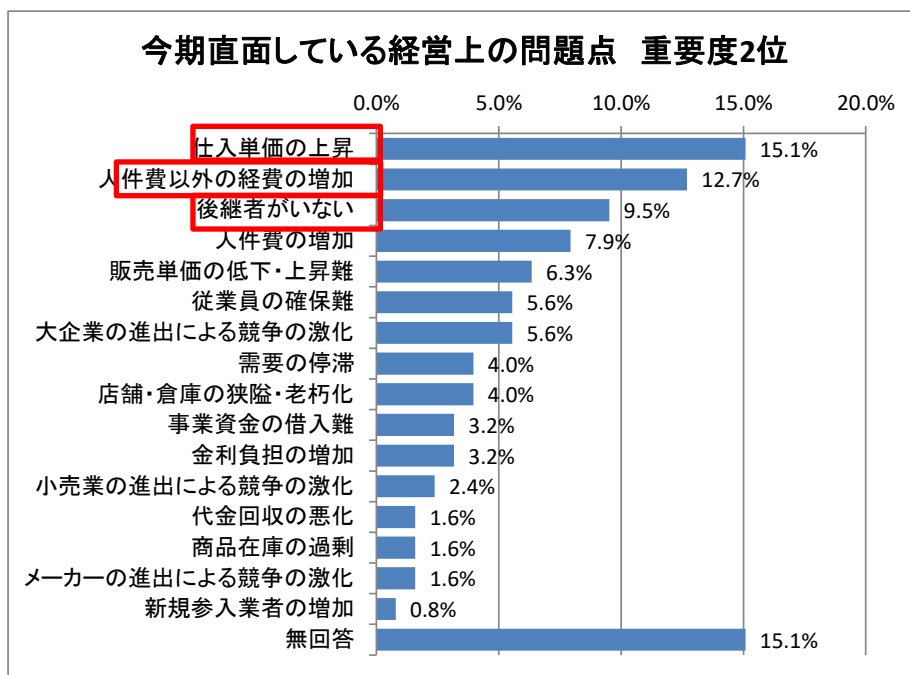


	合計	計画している	計画していない	無回答
全体 (建設業除く)	126 100.0%	11 8.7%	114 90.5%	1 0.8%
製造業	19 100.0%	1 5.3%	18 94.7%	0 0.0%
建設業	24 100.0%	3 12.5%	20 83.3%	1 4.2%
卸小売業	35 100.0%	1 2.9%	34 97.1%	0 0.0%
飲食業	17 100.0%	2 11.8%	15 88.2%	0 0.0%
サービス業	28 100.0%	3 10.7%	25 89.3%	0 0.0%
その他	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%

来期の設備投資については、今期の設備投資より上回る90.5%の事業所が設備投資を計画していないと回答している。計画している事業所はわずか8.7%であった。

3. 今期直面している経営上の問題点について





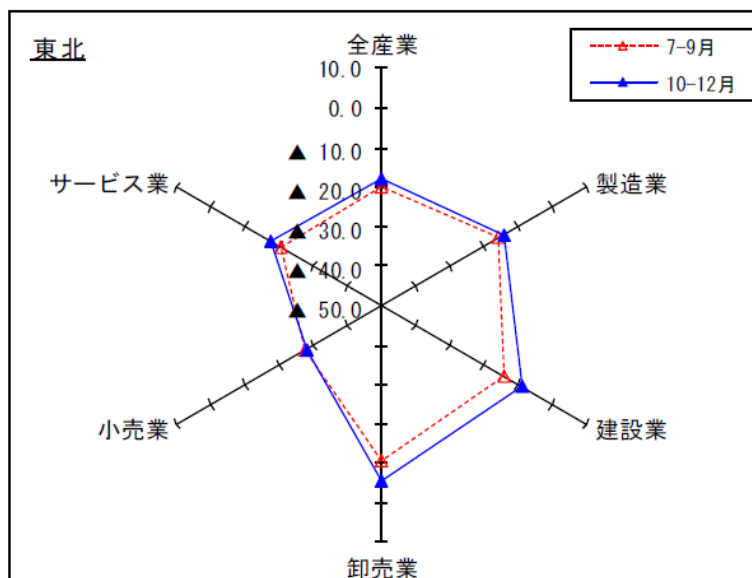
今期、事業所が直面している経営上の問題点について、重要な順位を回答してもらったが、最も重要視されているのは「仕入単価の上昇」で、続いて「需要の停滞」、「従業員の確保難」であった。第2位については、「仕入れ単価の上昇」を挙げた事業所が最も多く、次いで「人件費以外の経費の増加」、「後継者がいない」と続いている。そして、第3位には、「後継者がいない」、「人件費以外の経費の増加」、「需要の停滞」と続いている。

何れも順位は多少異なるけれども、どの事業所においても、「仕入単価の上昇」、「需要の停滞」、「後継者がいない」といったことが経営上の問題として重要視されており、共通した直面している経営上の問題点であることがわかった。

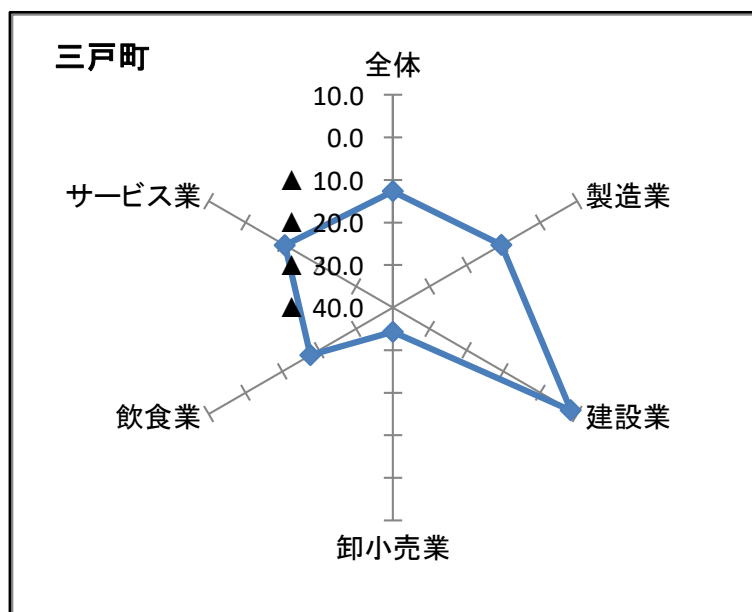
来期の調査において、重要度が高いと判断していた問題点がどういったことで、どの程度解決できたのか、逆にどういったことをしても解決できなかったのか、といったことを追跡していくことが、今後の経営戦略を策定する上でも大変重要なポイントとなってくる。

参考までに、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表した「第 154 回 中小企業景況調査 (2018 年 10-12 月期)」の東北の業況判断 DI 値と本調査の業況 DI 値と比較してみたものが、以下のグラフである。本調査では、業種区分を卸売と小売業を同一にして、飲食業を設けているが、東北に比べると「建設業」の業況が良く、「卸小売業」の業況があまり良くない結果となっている。

業況判断DI



出所：第 154 回 中小企業景況調査 (2018 年 10-12 月期) 独立行政法人 中小企業基盤整備機構



出所：本文 P2 (2) 「今期の自社の業況について」 DI 値データより作成

1. 前期と比較して、今期の業況についてお尋ねいたします。

下記の各項目について、それぞれ評価してください。(択一方式)

01 自社の業況(共通項目)	良い	さほど良くない	悪い
02 業界の業況(共通項目)	良い	さほど良くない	悪い
03 売上高(建設業を除く)	増えた	さほど増えていない	減った
04 完成工事高(建設業)	増えた	さほど増えていない	減った
05 営業利益(共通項目)	増えた	さほど増えていない	減った
06 資金繰り(共通項目)	楽になった	さほど変わらない	厳しい
07 人員や人手(共通項目)	足りない	ちょうどよい	余っている
08 従業員(含むパート・臨時)	増えた	変わらない	減った
09 原材料等の仕入価格(製造業)	下がった	さほど下がっていない	上がった
10 製(商)品の仕入価(卸・小売業)	下がった	さほど下がっていない	上がった
11 在庫状況(製造業)	増えた	さほど増えていない	減った
12 手持工事高(建設業)	増えた	さほど増えていない	減った

その他業況等コメント

2. 設備投資についてお尋ねします。今期と来期の設備投資について教えてください。

(1) 今期 ① 設備投資を実施した ② 実施していない

(2) 来期 ① 設備投資を計画している ② 計画していない

3. 今期直面している経営上の問題点を教えてください。

重要度の高い順に、①、②、③と記入してください。

大企業の進出による競争の激化	販売単価の低下・上昇難
メーカーの進出による競争の激化	仕入単価の上昇
小売業の進出による競争の激化	金利負担の増加
新規参入業者の増加	代金回収の悪化
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	事業資金の借入難
商品在庫の過剰	従業員の確保難
人件費の増加	需要の停滞
人件費以外の経費の増加	後継者がいない

その他、経営上の問題点・課題等

※質問は以上です。ご協力ありがとうございました。